

生活 日月火水木金

家族健康 計て衣食住

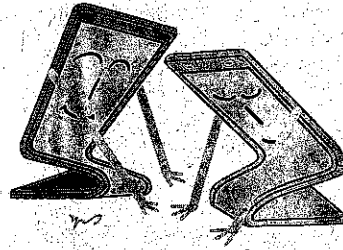
介護シニア

伝える工夫 手紙メール

中川 越

無料通信アプリ「LINE(ライン)」などの交流サイトは、実にすばらしい夢の通信手段です。なじしろ、文字はおろか写真や動画まで、瞬時に世界中に送信できるので。たとえば、家族でグループになれば、日々の楽しい生活の一場面を共有して時系列で繰り返し視聴できるので、一家の貴重なアルバムにもなります。

しかし、その一方で、このテクノロジーもまたもろ刃の剣で、不用意な一言の



交流サイトに必要な「インサ」

切っ先が互いの心をえぐり合います。交流サイト内でいじめが多発し、「入るも地獄抜けるも地獄」という言葉さえ耳にするよつになりました。

なぜそんなことが起こるのでしようか。一つには、手紙の感性の伝統が、継承されていないためではないかと思われまふ。明治生まれの歌人・国文学者の窪田空穂は、「こつと言います。『書簡は、直接に逢って話をする時よりも、控え目に書け、少し丁寧なものの方がせよ。』行き届いた人の書簡を、多少注意して読むと、この控え目と、少し丁寧というところが、必ず守られている」

空穂のアドバイスは、今も傾聴に値します。むき出しの言葉は危険です。たとえ気心の知れた仲間同士で通信する際にも、最低限のあいさつや礼儀を、わきまを要する必要があるはず。先日韓国ドラマ鑑賞中、韓国語で「あいさつ」のことをインサ(漢字表記は「人事」)といつのだと知りました。人が行くべき事、礼儀という意味があるとか。いつの世の、どのようなコミュニケーションにも、インサは大切です。

(手紙文化研究家、イラストも)

「半介護半X」で前向きに

エンタス

介護の仕事しながら別の分野でも働く「半介護半X」という生き方が、注目を集めている。「X」は、自分の好きなものや得意なことでもいい。介護との両立は大変そうに見えるが、実践者に聞くと、「両方とも大切なライフワーク」と前向きな答えが返ってくる。人手不足に悩む介護業界の一助になるだろうか。(五十住和樹)

農業、猟師、フットケア...



二月に東京で開かれた、介護福祉のこれからを考えるイベント「おいおい老い展」で、参加者が「半介護半X」を取り上げた。

富山県高岡市のケアマネジャーで社会福祉士の畑野亮則さん(50)らのグループは各地で活動する実践者を紹介。「X」は猟師(長野県男性)、フットケア(富山県女性)、酪農(北海道男性)、ミュージシャン(福井県男性)と多彩だ。

畑野さん自身もこの春から実践者となった。老人保健施設やデイサービスなどで通算約二十年、介護の仕事を経てきたが、四月に実家で訪問介護などの事業

グループホームのおやつ時間、入所者と話す
工藤由里子さん(左)いすれも岩手県八幡平市で



二月に東京で開かれた、介護福祉のこれからを考えるイベント「おいおい老い展」で、参加者が「半介護半X」を取り上げた。

得意を生かして働く

種もみから育てた苗代で、穂の色や子葉の出具合などをチェックする工藤さん

種もみから育てた苗代で、穂の色や子葉の出具合などをチェックする工藤さん

種もみから育てた苗代で、穂の色や子葉の出具合などをチェックする工藤さん



生後6カ月のころ、母に抱かれて。産んでくれた母には感謝しかない

10歳 体に異変が起きた

「息子さん、余命は五年から長くて十年でしょう」。今から二十七年、私が生後十カ月の時に、両親は、医師からそう告げられたという。私が患っている「脊髄性筋萎縮症(SMA)」という病気が、十万人に一人の難病と言われている。筋肉がどんどん萎縮してしまふ、日常生活すべてにおいて介助が必要になる。

近年こそ、この難病の進行を遅らせる新薬が登場したが、根本的な治療はまだ見つかっていない。医師の余命宣告は、いすれ呼吸器系に大きな影響を及ぼし、命を落とす危険性があることを意味していた。でも、余命宣告をとくに通り過ぎて、私は今「人生の延長戦」を

寝たきり社長の「上を向いて

生きてる。

医師から余命宣告を受けた時、母は「そんな聞いたこともない病気になるんじゃない」と思った。五歳ごろまで、私は母と一緒に肢体不自由児通園施設に通い、初めての集団生活の中、同じような障害がある子どもたちと過ごした。小学校は当時の養護学校に、母の送迎で通った。そのころは、校内を電動車椅子で自由に動き回り、授業でも鉛筆を持って字を書けた。

だが小学四年生、ちょうど十歳のころ、医師の余命宣告の通り、私の体に少しずつ異変が起り始めていた。長時間電動車椅子に座っていると疲れたり鉛筆を握るのも難しくなったりして、学校でも横たわって授業を受けることが増えていった。家では、夜眠れなくなっていた。「母さん、夜は息苦しくて眠れないんだ」。そう言ううち、母は顔色を変え、私をすくすく名古屋の大学病院に連れて行った。

当時、私はまだ自分の病名を知らなかった。両親に自分の病名を尋ねたことはそれまでもあったが、絶対に教えてくれなかった。いつも通っている診療所ではなく、大きな病院に連れて行かれたことで、いつもと様子が違うなど、胸騒ぎがした。

(佐藤仙務「仙拓」社長)

一九九五年、ごろから「半介護半X」を提唱している福知山公立大特任准教授の塩見直紀さん(58)は、「人口減少時代を乗り切るために、『一人多役』で支え合う世の中にするには、介護の仕事で幅が広がる。

中でも農業と介護の組み合わせについて、塩見さんは「自然と触れ合う農作業は、人とつながる介護で癒やされ、自分自身を回復させられる」として、高齢化社会の生き方のモデルになる」と指摘している。

元気になるという。職員約五十人のうち自宅農業もするの十八人。午前中は介護、午後からは農作業といったふうにシフトを組んで両立している。

グループホームの介護職員、工藤由里子さん(50)は午前六時半から十一時半まで施設で朝食や入浴介助を行い、午後は田んぼや畑に出る。「おばあさんがいるからと取っておいたヘルパー(二級)が役に立って作ったコマや野菜がおいしいと言われたり、お年寄りから『ありがとう』と言われたり。両方にやりがいがある。私にはちょうどいい生活」と笑う。

高橋さんは「規模を拡大しない農業なら、自分のペースを保って介護と同時に続けられる」と話している。

どう切り出したら 親に相続の相談



ご意見・ご感想を 住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して100-8525 東京新聞生活部へ。ファクス03(3595)6931.seikatut@tokyo-np.co.jp

日城ブ	6212	▽68	年贈	12878	△8	F外	Rセ	17768	▽59	中華	株	2837	▽51	医療	未	10679	▽257	いちよし	8660	△8	Jリート	4597	△6	グロ	A	15365	▽720	スイッチ	9908	▽8	資産	形成	20983	▽97	UUT	B	8610	▽16	イースト	スプリ	14406	▽348
高イ米	8843	△5	年外	25602	▽599	Fコ	モセ	4916	▽18	深イ	ノ	7980	▽222	未	来	14784	▽430	株式	10904	▽36	ニ	ボン	11288	△6	自	運	9588	▽4	ワー	バ	17876	▽231	り	そ	な	24800	▽718	イン	ド	8484	▽107	
		△3002	▽109	F	サ	サ	サ	9647	▽10	フ	フ	9988	▽92	未	来	16659	▽645	株式	10904	▽36	ニ	ボン	11288	△6	自	運	9588	▽4	ワー	バ	17876	▽231	り	そ	な	24800	▽718	イン	ド	8484	▽107	